2 900000 094253

131300JLA01Q02 02-01 CL25

JL シリーズ

タカギ　混合栓施工説明書

takagi

蛇口一体型浄水器　みず工房 エコ（壁出し水栓・単水栓・取替スパウト）

■施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。
■ここに示した「安全上のご注意」は状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
■施工完了後、試運転を行い異常がないことを確認するとともに、取扱説明書にそってお客様に使用方法、お手入れのしかたを説明してください。また、取扱説明書はお客様で保管頂くように依頼してください。
■給排水管工事は専門業者でお願い致します。

安全上のご注意　安全上のご注意は壁出し水栓を基本にしています。※取替スパウトの施工方法は「7.取替スパウトの取り付け方」を確認ください。

製品を安全に正しくお使いいただく前に

施工前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

絵表示について　製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告　この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡、または重傷を負う可能性が想定されている内容を示しています。

⚠注意　この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定されている内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⃠記号は、禁止行為であることをお知らせするものです。図の中や近くに具体的な「禁止」内容を示しています。

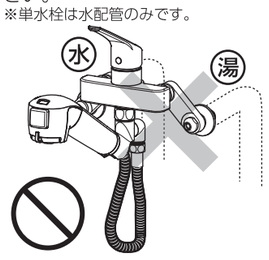
❗記号は、必ず実行していただくものです。図の中や近くに具体的な「強制」内容を示しています。

⚠警告

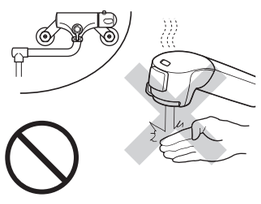
- 設置の前に施工説明書をよく読み、その手順に従って設置してください。
- 必ず製品に付属の部品を使用して施工してください。
- 修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。
- この説明書に記載された項目以外は分解・改造しないでください。

やけどをするおそれがあります

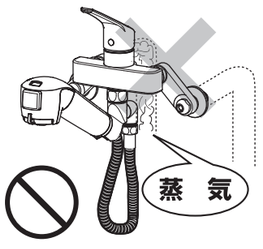
湯水を逆に配管しないでください。
※単水栓は水配管のみです。



他所の水栓の使用等により水圧変動が起こり、湯を使用中に湯温が急上昇する事があります。



給湯に蒸気を使用しないでください。

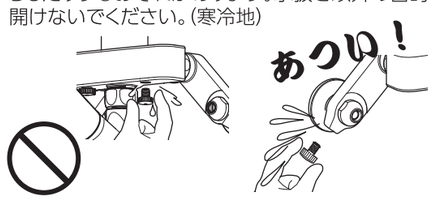


水栓に向かって左側には直接触れないようにしてください。給湯側のため、高温になっている場合があります。



湯・水が噴き出てやけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

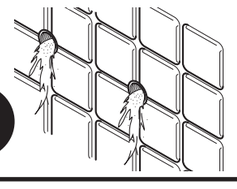
流量調整ネジ付水抜き栓や水抜き栓をいきなり開けると、高温の湯が出てやけどをしたり、家財などを濡らしたりするおそれがあります。水抜き以外の目的で開けないでください。(寒冷地)



⚠注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

新設の場合、水栓を取り付ける前に、給水管内のゴミなどを完全に洗い流してください。

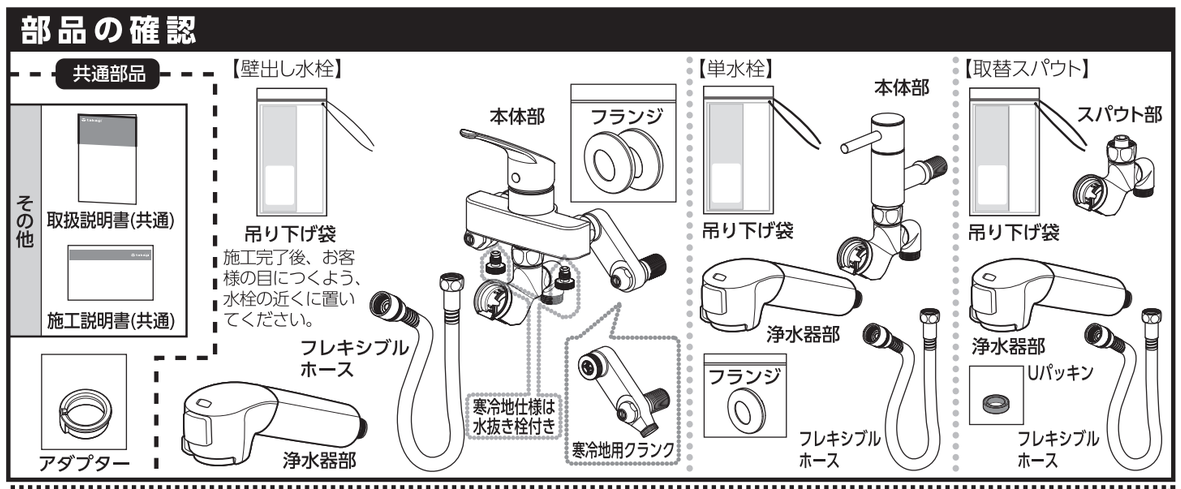


故障の原因になります

給湯温度は60℃以下でご使用ください。60℃を超える高温でご使用になるとカートリッジが破損し、浄水器としての性能を維持できなくなる場合があります。



部品の確認



水栓の種類によって施工方法を色分けしています。
◎壁出し水栓の施工方法･･･グレー枠　◎単水栓の施工方法･･･黒枠　※共通の施工方法･･･二重枠

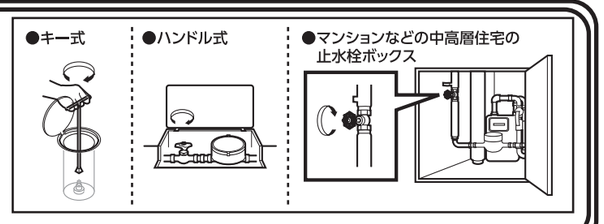
作業手順（水栓の取り替え方法）

1.器具の取りはずし【本体部･クランク】

※新設の場合は「2.器具の取り付け」に進んでください。

1-❶水道配管の止水栓を閉める

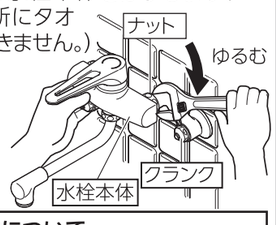
配管部の止水栓などにより通水を止めて、水抜栓により水抜きを行います。



壁出し水栓の場合

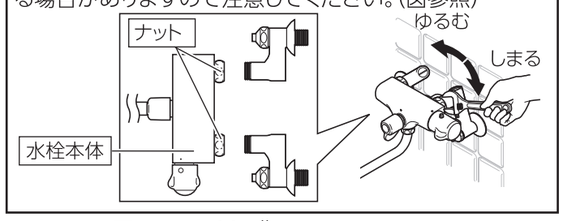
1-❷古い水栓を取りはずす

モンキーレンチでクランクと水栓本体とを固定しているナットをゆるめてクランクから水栓本体をはずします。
(モンキーレンチをあてる箇所にタオルなどをあてがうと製品が傷つきません。)

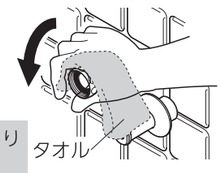


⚠注意
ネジで手を切るおそれがあります。注意してください。

ナットのゆるむ･しまるの向きについて
水栓の種類によっては、ナットが本体側についているものがあり、ナットのゆるむ･しまるの向きが本説明書と逆になる場合がありますので注意してください。(図参照)



<古いクランクをはずす>
クランクにタオルなどをあてがい、図のように回してはずします。(壁に向かって反時計回り)



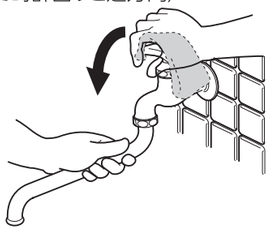
⚠ ネジで手を切るおそれがあります。注意してください。

単水栓の場合

1-❷古い水栓を取りはずす

古い単水栓本体にタオルなどをあてがい図のように回してはずします。(壁に向かって時計回りと逆方向)

⚠注意
ネジで手を切るおそれがあります。注意してください。



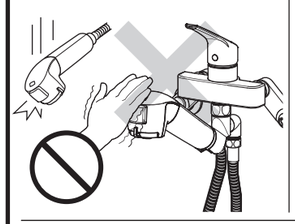
⚠注意

破損･漏水の原因になります
リフォームでの取り付けの場合、築年数によっては屋内の配管が傷んでおり、破損するおそれがあります。その際は、水道配管の交換を行ってください。

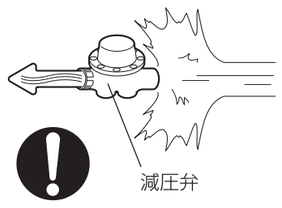
⚠注意

水漏れで、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります

強い力や衝撃を与えないでください。

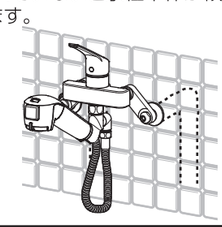


高水圧地区（設置条件参照）では減圧弁を設置してください。

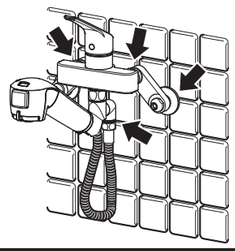


水栓本体及び各接続部は浮きや緩みがないように、しっかり固定してください。各接続部が確実に固定されていないと水栓本体が傾いたり、水漏れが発生する可能性があります。

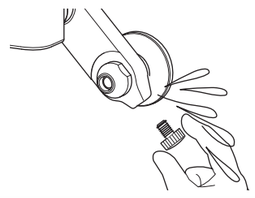
しっかり固定!



施工完了後は、水栓本体及び各接続部から水漏れのないことを確認してください。



冬期に施工完了し、お客様にお引き渡しするまでの間、凍結による破損が予想されますので、水抜きなどの予防処置を行ってください。(水栓に水抜き構造のあるものは水を抜いておいてください。)



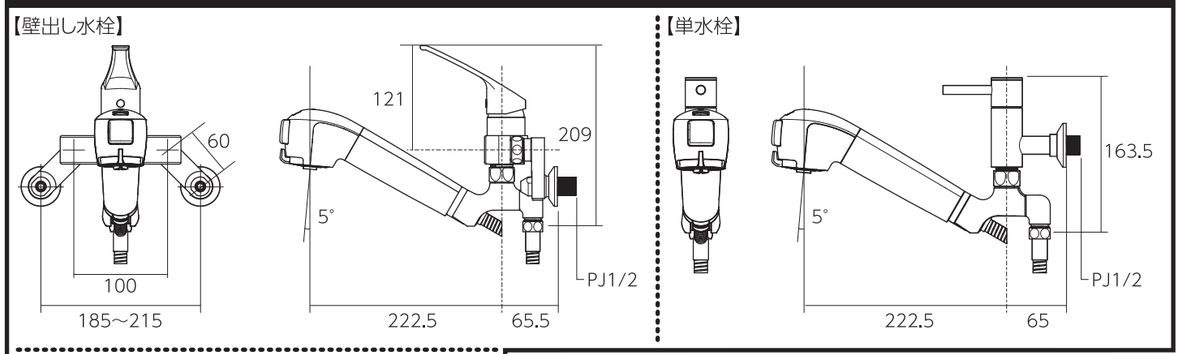
施工条件

■水圧条件

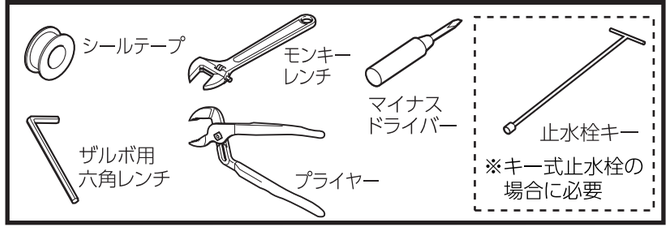
■給水･給湯圧力範囲は動水圧0.05MPa～静水圧0.75MPaです。この圧力範囲内でご使用ください。**推奨圧力は静水圧0.2MPa～0.3MPaです。**給水圧力が**静水圧0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で静水圧0.2MPa程度の適正圧力に減圧**してください。但し、給湯圧力は給水圧より**高くならないように設定**してください。
■給湯配管は最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

※給水圧力と給湯圧力は圧力差が少ない程、温度調節が容易になります。
※水道水の飲用基準に合格した水をお使いください。温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

外観寸法図



施工に必要な工具類



※古いクランクといっしょにザルボがはずれた場合

（ザルボは最初から壁についているものであり、商品には含まれていません。）

クランクと一緒に壁側のザルボ（取付ネジ）がはずれたら、下記の要領で対処してください。

①プライヤーなどでザルボをはさみ、古いクランクからはずします。



※古い単水栓本体といっしょにザルボがはずれた場合

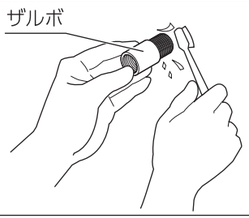
（ザルボは最初から壁についているものであり、商品には含まれていません。）

単水栓本体と一緒に壁側のザルボ（取付ネジ）がはずれたら、下記の要領で対処してください。

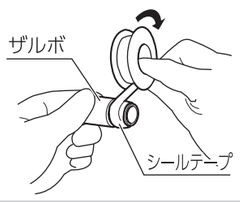
①プライヤーなどでザルボをはさみ、古い単水栓本体からはずします。



②ザルボのネジ部のゴミを取ります。



③しっかりとザルボを握り、シールテープを引っぱり気味で矢印の方向に7～8回巻き、そのまま引きちぎってください。

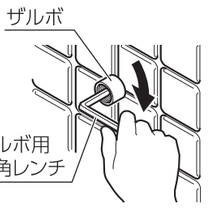


⚠注意

漏水の原因になります　シールテープを逆に巻くと、ザルボに取り付けた際にゆるむおそれがありますので図の通りに巻いてください。

※ザルボ用六角レンチがある場合

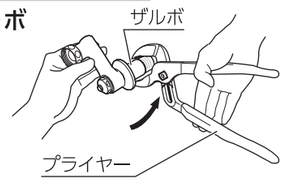
④壁の中に入れ、ザルボ用六角レンチでザルボを締めつけます。



⚠注意
ザルボの取り付けは慎重に行ってください。壁の中なので、万一の漏水時の確認が困難です。

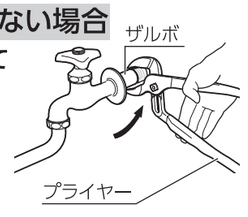
※ザルボ用六角レンチがない場合

クランクを利用してザルボを壁に取り付けます。

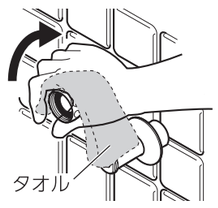


※ザルボ用六角レンチがない場合

古い単水栓本体を利用してザルボを壁に取り付けます。
古い単水栓本体にザルボをプライヤーなどを使用して締めつけます。



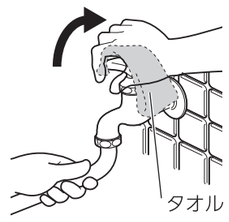
⑤クランクにタオルなどをあてがい、図のように回して取り付けます。(壁に向かって時計回り)
しっかり固定できたら、クランクだけを取りはずしてください。



⚠注意

ザルボの取り付けは慎重に行ってください。壁の中なので、万一の漏水時の確認が困難です。

⑤古い単水栓本体にタオルなどをあてがい、図のように回して取り付けます。
(壁に向かって時計回り)
しっかり固定できたら、古い単水栓本体だけを取りはずしてください。



⚠注意

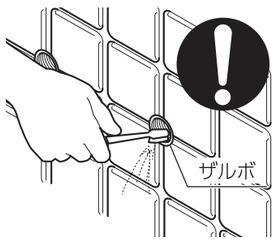
ザルボの取り付けは慎重に行ってください。壁の中なので、万一の漏水時の確認が困難です。

1-❸ザルボ内の清掃をする

ザルボ内のゴミを歯ブラシなどで取り除いてください。

⚠注意

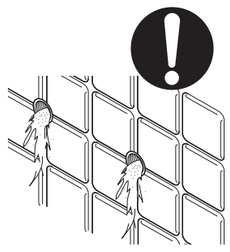
漏水の原因になります
ザルボ内にシールテープや接着剤が残っていると、次に器具を取り付けた場合、漏水や故障のおそれがあります。必ず掃除を行ってください。



2.器具の取り付け【クランク】

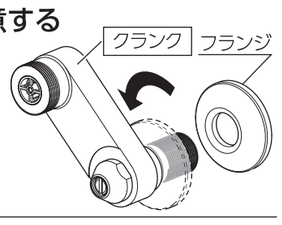
⚠注意

新設の場合は、配管内にチリ、ゴミなどが混入しています。器具取り付け前に数十秒間の捨て水を行い(水浸しに注意)、その後止水栓を閉めて水が出ないことを確認してください。(止水栓の閉め方は1.器具の取りはずし【本体部・クランク】を参照してください。)



2-❶新しい水栓を用意する

新しい水栓本体についているクランクを本体部からはずします。フランジは図のように奥までまわし入れてください。



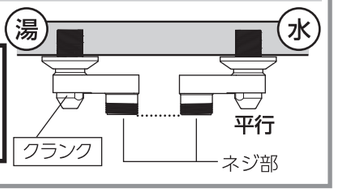
2-❷クランクの回転数を確認する

クランクを水側・湯側に分けてザルボ（取付ネジ）にクランクを取り付け、何回転で止まるか確認します。
※クランク取り付け時、クランクを微調整のために反対に回すことがないようにするためです。反対に回すとシールテープが切れ、水漏れの原因となります。

⚠注意 水漏れ防止のため、ネジ部が壁面に対して平行、かつ水平になるようにします。

MEMO

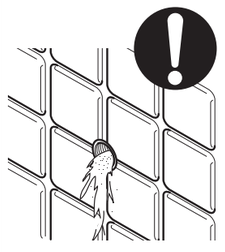
湯側	回転
水側	回転



2.器具の取り付け【本体】

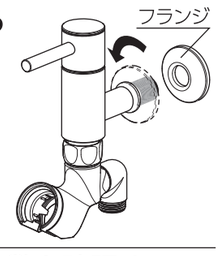
⚠注意

新設の場合は、配管内にチリ、ゴミなどが混入しています。器具取り付け前に数十秒間の捨て水を行い(水浸しに注意)、その後止水栓を閉めて水が出ないことを確認してください。(止水栓の閉め方は1.器具の取りはずし【本体部・クランク】を参照してください。)



2-❶エコ単水栓を用意する

図のようにフランジを奥までまわし入れてください。



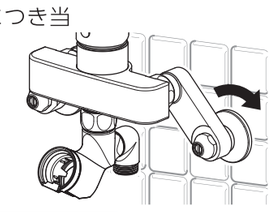
2-❷エコ単水栓本体の回転数を確認する

ザルボ（取付ネジ）に新しい単水栓を取り付け、何回転で止まるか確認します。
※単水栓取り付け時、単水栓を微調整のために反対に回すことがないようにするためです。反対に回すとシールテープが切れ、水漏れの原因となります。

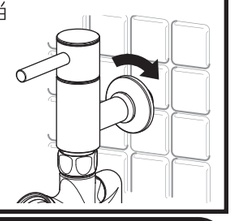
MEMO
回転

回転数確認は、壁出し水栓のクランク仮固定時および単水栓本体を取り付ける際に、参考となる数値です。

フランジをまわして、壁につき当てます。



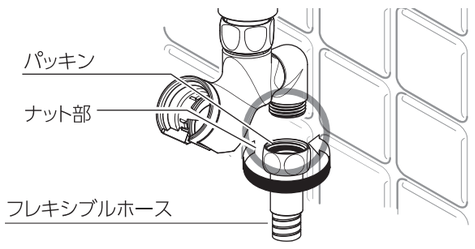
フランジをまわして、壁につき当てます。



4.器具の取り付け【フレキシブルホース】

フレキシブルホースをスパウト部分に取り付けます

フレキシブルホースのナット部を回転させて締めつけます。
※特に工具は必要としません。
※ナット部のパッキンが脱落していないか確認ください。



⚠注意 パッキンが破損するおそれがあります。フレキシブルホースのナットを過剰に締め込まないでください。※目安として16N·mを上限として施工してください。

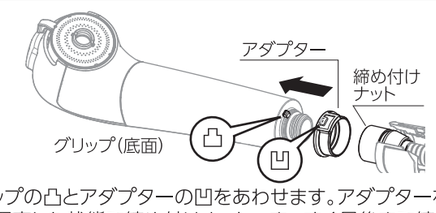
5.器具の取り付け【浄水器部】

5-❶フレキシブルホースに浄水器を取り付けます

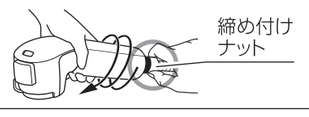
浄水器部にアダプターを装着し、締め付けナットへ締め込みます。※水漏れの原因になります。浄水器部と締め付けナットはしっかり締め込んでください。

⚠注意

ホースを固定して浄水器部を回転させて取り付けてください。※ホースを回転させて取り付けるとホースがねじれ、故障の原因となります。※アダプターは紛失しないようにしてください。



グリップの凸とアダプターの凹をあわせます。アダプターを指で固定した状態で締め付けナットへまっすぐ最後まで締めこんでください。※締め付けナットへまっすぐ締め付けないと、グリップ部のねじ部分が破損するおそれがあります。



ホースの締め付けナットを固定して浄水器部を回すとホースがねじれません。

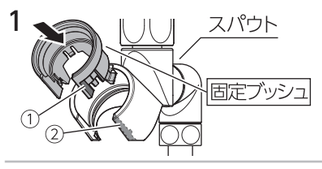
5-❷浄水器をスパウト部分に取り付けます

図の▲部分は自由に回転しますのでシンクにあわせて調整してください。

固定ブッシュがはずれた場合/浄水器が取り付かない場合

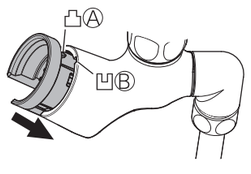
【固定ブッシュがはずれた場合】

1



1.図の①部分がスパウト内側の②部分にあたるように差し込む。

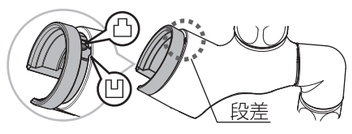
2



2.固定ブッシュの凸Ⓐをスパウトの凹Ⓑに入れながら、押し込みます。

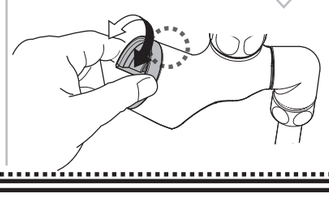
※最後まで押し込み、その後固定ブッシュを引っ張ってもはずれないことを確認してください。

【浄水器が取り付かない場合】
※スパウトに固定ブッシュが完全にはめ込まれていない可能性があります。以下のようにして通常の位置に戻してください。



⚠注意

正しい位置に取り付けないと固定ブッシュとスパウトの間に大きな段差が生じ、浄水器が使用中に落下するおそれがあります。



固定ブッシュを指でつまみ内側に変形させながら、固定ブッシュとスパウトの段差がなくなる所まで矢印方向へ回転させます。

2-❸クランクを取りはずし、シールテープを巻く

しっかりとクランクを握り、シールテープを引っぱり気味で矢印の方向に7～8回巻き、そのまま引きちぎってください。

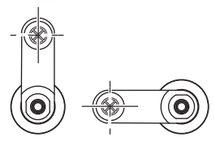


⚠注意

漏水の原因になります
シールテープを逆に巻くとザルボに取り付けた際、ゆるむおそれがあります。図の通りに巻いてください。

2-❹クランクを仮固定位置に固定する

(クランクの仮固定位置)

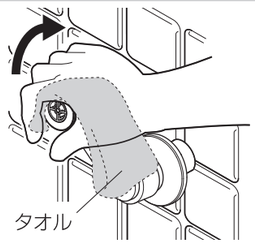


⚠注意

漏水の原因になります
クランクは絶対に逆方向へゆるめないでください。もしもゆるめてしまった場合は「2-❸クランクを取りはずし、シールテープを巻く」からやり直してください。

クランクにタオルなどをあてがい、図のように回していれます。(壁に向かって時計回り)

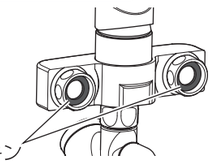
2-❷で確認したクランクのねじ込み回転数を参考にして作業を進めてください。



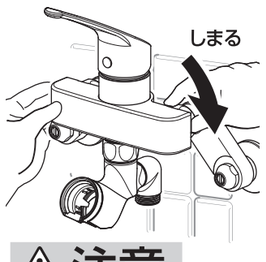
3.器具の取り付け【本体部】

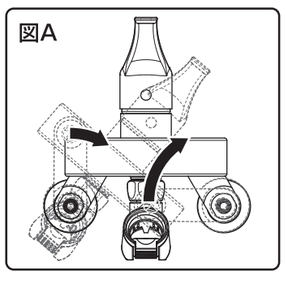
本体部を取り付けます

本体部ナット部分にパッキンがあることを確認します。



本体部を手でナットに仮止めします。仮止めした後、本体部がまっすぐになるようにしっかりと本体部を固定し、ナットを締め込みます。





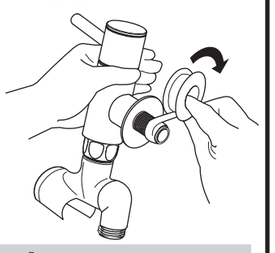
⚠注意

漏水の原因になります
クランクはゆるめる方向に回さないでください。壁に向かって、時計回りに回転させながら本体部を水平にしてください。
(図A参照)

けがをするおそれがあります
本体部は重いので、落下などに注意して取り付けてください。

2-❸単水栓にシールテープを巻く

しっかりと単水栓を握り、シールテープを引っぱり気味で矢印の方向に7～8回巻き、そのまま引きちぎってください。



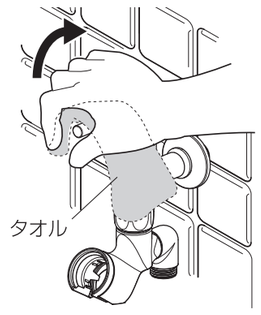
⚠注意

漏水の原因になります
シールテープを逆に巻くとザルボに取り付けた際、ゆるむおそれがあります。図の通りに巻いてください。

3.器具の取り付け【本体部】

単水栓を固定します

本体部にタオルなどをあてがい、図のように回して入れます。(壁に向かって時計回り)
本体部がまっすぐになるように固定します。



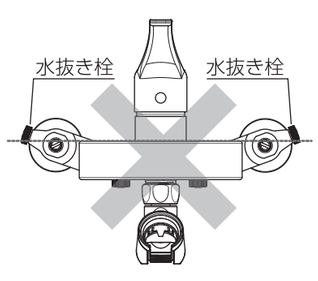
⚠注意

漏水の原因になります
単水栓は絶対に逆方向へゆるめないでください。もしもゆるめてしまった場合は、「2-❸単水栓にシールテープを巻く」からやり直してください。

けがをするおそれがあります
単水栓は重いので、落下などに注意して取り付けてください。

2-❷で確認した新しい単水栓の回転数を参考にして作業を進めてください。

⚠注意



寒冷地用の場合は、クランクの水抜き栓が本体よりも上になると、水抜きできないため必ず本体よりも下になるように取り付けてください。

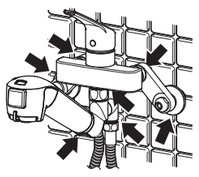
6.取り付けが終わったら

6-❶水道配管の止水栓を開ける

止水栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、止水栓を開けます。
レバーハンドルを上げて吐水状態にし、正常に通水することを確認してください。

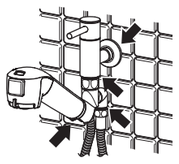
6-❷各接続部の水漏れがないかをチェックします

図の箇所を点検してください。
一昼夜おいて、各接続部に漏水による水のにじみが無いかを確認してください。漏水している場合は、その箇所を各手順通りに、再度作業を行ってください。



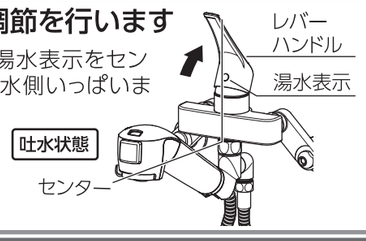
6-❷各接続部の水漏れがないかをチェックします

図の箇所を点検してください。
一昼夜おいて、各接続部に漏水による水のにじみが無いかを確認してください。漏水している場合は、その箇所を各手順通りに、再度作業を行ってください。



6-❸適温・適量調節を行います

①レバーハンドルの湯水表示をセンターに合わせて吐水側いっぱいまで上げます。



②流量調整ネジをドライバーなどで開放、または絞って適温・適量に合わせます。(水側、湯側同様)



7.取替スパウトの取り付け方

※取り付け部のネジサイズは、W26山20専用です。

・ナット式タイプ
・下付きタイプ
・ナット部外径:26㎜

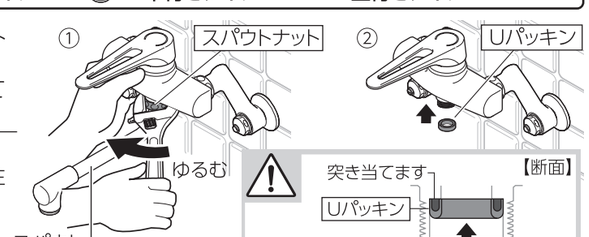


●現在お使いのスパウトの形を確かめてください。取り替えられる水栓は左記のタイプです。



①現在使用している蛇口のスパウトナットを緩めて、スパウトを引き抜きます。
※既存の古いパッキンを取り除き、歯ブラシなどで掃除してください。(既存の古いパッキンは使用しません。)

②新しいスパウトのUパッキンを本体に入れます。
※グリスを塗布しているため、ゴミを付着させないよう、ご注意ください。



③取替スパウトを水栓本体に差し込み、袋ナットを締め込みます。

この後の施工は「4.器具の取り付け【フレキシブルホース】」へとお進みください。



免責事項

以下の事項にて発生した損失や損害に対して株式会社タカギは一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。ご利用はお客様の責任で行っていただきますようお願いいたします。

1. 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合。2. 建築躯体の変形（強度不足・ゆがみ）など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合。3. 電気・給水などの供給で指定された以外の環境に起因する故障および損傷。4. 自然現象や住環境に起因する結露、染み出し・かびなどの現象。5. 水道に関する国の基準（水道法）に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。

■アフターサービスについて 破損した部分の交換や設置、使用上のご不明な点など、本商品に関する事柄は、当社までお問い合わせください。

■商品に関するお問い合わせは

タカギ・コミュニケーションセンター
通話料無料 0120-328-413 24時間電話受付（年中無休）
◎24:00～8:30までは音声ガイダンス受付になります。

株式会社 タカギ
http://www.takagi.co.jp/